

TTA レポート (NO.98)

1、2014年関プロ 栃木県開催

1 期 日 平成26年8月2日(土)・3日(日) 女子は国体ストレイト、男子のみ7県選抜

種別	8月2日(土) 9:30～	8月3日(日) 9:30～
成年男子	○1R ○2R ○各ブロック4位決定戦	○各ブロック2～3位決定戦 ○7位決定戦

2 会場 栃木県総合運動公園テニスコート
〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 TEL 028-659-1201

3 その他

(1) 組合せ抽選会

日時 7月10日(木) 13:30～

場所 関東テニス協会 会議室

(2) 代表者・監督会議

日時 8月1日(金) 18:00～

場所 ホテルニューイタヤ (栃木県宇都宮市)

(3) 開会式・懇親会

日時 8月1日(金) 19:00～

場所 ホテルニューイタヤ (栃木県宇都宮市)

(4) 開始式

日時 8月2日(土) 9:30～

場所 栃木県総合運動公園テニスコート

2、ねんりんピック栃木県予選

ねんりんピックとちぎ2014スポーツ・文化交流大会競技別実施要項
テニス交流大会

1 開催 主催 : (社)とちぎ健康福祉協会 主管 : 栃木県テニス協会

2 日時 平成26年5月11日(日) 9:00～ [予備日:5月16日(金)]

(1)選手 8:30～9:00 (3) 9:15～9:30 練習 (6面につき譲り合って使用)

(2)開会 9:00～9:15 (4) 9:30～ 試合開始

3 競技会 宇都宮市屋板運動場テニスコート (宇都宮市屋板町231-1)

4 参加資 県内在住者で60歳以上(昭和30(1955)年4月1日以前に生まれた人)とする。

5 競技方法

(1) チーム対抗の団体戦により、代表となる5チームを選出する。

(2) 男子ダブルス60歳以上・70歳以上及び女子ダブルス60歳以上の3ポイントで行う。

(3) 4ゲームマッチ(3ゲームオール後、7ポイント先取タイブレーク、ノーアドバンテージ・スコアリング方式)で行う。

(4) セルフジャッジとする。(※SCU方式を採用する場合があります。)

※総合順位	
優勝	スカイベリー
準優勝	チャレンジ・ハート
3位	ごちそうさん
4位	トミチャンクルーズ
5位	シャボン玉
6位	チームエンジョイ
7位	アイボさくら
8位	ブランチ

※5位までが全国大会へ出場予定だが、各都道府県の申込状況で更に変更有りうる

3、第77回国体 栃木県準備委員会 設立総会・第1回総会

1、2014.5.19(月) 14:00～15:00 ホテルニューイタヤ 3F天平の間

理事長 井村 出席

2、内容

1)出席 約277名 栃木テレビアナウンサー嬢司会 オークストラ県民の歌斉唱

2)福田知事挨拶 S55年に35回が、今回H34年77回 その後県議長挨拶、

国会議員紹介 上野さんは見えてたから良いが、殆ど代理出席でヤジ有り

3)第77回国体 栃木県準備委員会 設立総会・第1回総会 の議案-----全了解

4、2014年度(平成26年度)「PLAY&STAY事業」のアンケートの実施 6/2締切

TTAでは、テニスの普及・底辺拡大を目的として、昨年に続き、ITF(国際テニス連盟)が進める「PLAY&STAY事業」を実施し事業の具体化に当たっては、理事会・委員長会議における地区協会の皆様からの御要望を踏まえ、「共催要望に関するアンケート調査」を行実施をしたい。
以上

TTA レポート (NO.99) 次回NO100は9/1号です。

1、2014年関ブロ 栃木県開催

1 栃木県予選結果

日 時 平成26年5月31日(土)、6月1日(日) 真夏のような天候だった

会 場 屋板運動場、小山運動公園、清原中央公園

結 果	成年男子	成年女子
	1位 大橋 可宏	1位 上吉原 あい
	2位 鈴木 佳太	2位 玉野 奏海
	3位 牧野 圭一郎	3位 野中 瑞姫
	4位 森下 裕貴	4位 菊地 かおり

国 体 男子上位2名の選手は、8月2日、3日に栃木県総合運動公園で行われる関東ブロック大会に出場、
女子上位2名の選手は、10月13日～10月16日長崎市総合運動公園かきどまり庭球場、長崎市営庭球場で
行われる本国体に出場。

2 関ブロ 期 日 平成26年8月2日(土)・3日(日) 女子は国体ストレート、男子のみ7県選抜

種 別	8月2日(土) 9:30～	8月3日(日) 9:30～
成年男子	○1R ○2R ○各ブロック4位決定戦	○各ブロック2～3位決定戦 ○7位決定戦

3 関ブロ 会 場 栃木県総合運動公園テニスコート
〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 TEL 028-659-1201

2、第77回国体対策本部負担金関係—6/20県締切

担当 栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課 競技力向上チーム 指導主事 荒川哲也
t-arakawa01@pret.tochigi.lg.jp

1 第77回国体対策強化費補助金	金 670,000 円
国体対策選手強化事業	
・国体対策ジュニア育成強化事業	金 580,000 円
・国体対策指導者養成事業	金 90,000 円

2 関係書類

- (1) 平成26年度第77回国体対策強化費補助金交付申請書(要領様式第1号)
- (2) 平成26年度第77回国体対策強化費補助金交付請求書(要領様式第2号)

3、2014年度(平成26年度)「PLAY&STAY事業」の推進

1)まずアンケート実施 TTAでは、テニスの普及・底辺拡大を目的として、昨年に続き、ITFが進める「PLAY&STAY事業」を実施しま
事業の具体化に当たっては、理事会・委員長会議における地区協会の皆様からの御要望を踏まえ、「共催要望」に関するアンケート調査を行ない、
3地区から実施をしたい。JTAから20万円の補助があり活用したい。

2)平成26年度PLAY+STAY特別補助金交付の申し込みの件(雛形)

〇〇テニス協会は、日本テニス協会が推進しているPLAY+STAYへ本協会として協力実施するため、ご案内頂いた
日本テニス協会のPLAY+STAY平成26年度特別補助金20万円の交付を申し込みます。

なお、特別補助金は、本協会が(〇〇テニス協会と共同して)本年度に実施する〇〇事業に供される予定です。

4、第3回北国ベテランオープンテニス選手権大会

2014年5月28日 北国新聞社杯争奪70オシングルス 優勝 佐藤久和
大いにJOP大会に参加を!!

5、6/15に2013年度理事会による総会決算の不符号内容の解明結果

調査は2013年度における全決算資料の再調査を行い、当年度における計上相違を発見しました。その後、補助金関係
の計上相違があることを発見しました。また、2012年度のジュニア委員会の残金が未清算であったことが判明しました。

1. 2013年度決算状態
 2. 不符号につき理事会で承認を得た。
今後二度と同じ間違いをせぬこと。
- | | |
|-------------|----------------|
| 2013年度決算書残金 | 4,740,695円 |
| 同 通帳残高 | 3,423,081円 |
| 差額 | 1,317,614円(不足) |

3. 今後について

- (1) 今後は、年度末に各委員会毎の残金精算を確実にを行うこととし、通帳と現金の照合を厳正に行います。
- (2) また、総務経理委員会の決算は、必ず委員長と副委員長共同で行い、正しい決算処理を行います。
- (3) 本件については全委員会猛省し、書類提出の期限厳守と厳正な現金管理を行います。

以上

TTA レポート (NO.100)

2005.5.31の第1号から、TTAのホームページに、TTAは勿論ですが、栃木県体育協会、KTA、JTAの動きにつき、幾らかでも皆様の参考になるようレポートを掲載してからお蔭様で記念の100号になります。

1、2014年関ブロ 栃木県開催結果

1 栃木県選手

成年男子	成年女子	栃木県予選無しで長崎国体本番にストレートイン
1位 大橋 可宏	1位 上吉原 あい	
2位 鈴木 佳太	2位 玉野 奏海	
3位 牧野 圭一郎	3位 野中 瑞姫	
4位 森下 裕貴	4位 菊地 かおり	

2 関ブロ 期 日 平成26年8月2日(土)・3日(日) 男子のみ7県選抜

種 別	8月2日(土) 9:30~	8月3日(日) 9:30~
成年男子	○1R ○2R ○各ブロック4位決定戦	○各ブロック2~3位決定戦 ○7位決定戦

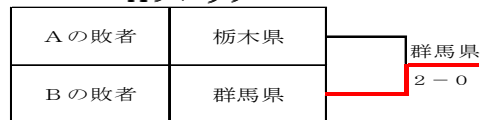
■ 成年男子の部
Aブロック



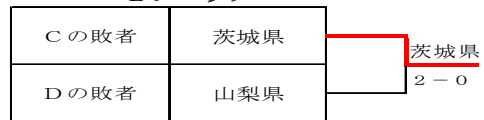
Bブロック



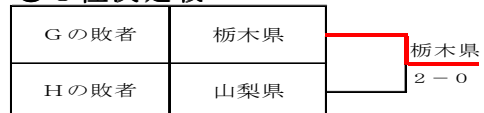
● 各ブロック4位決定戦
Aブロック



Bブロック



● 8位決定戦



3 関ブロ 会 場 栃木県総合運動公園テニスコート

2、第53回 関東BP

1、今回の大会は埼玉県テニス協会が全面的に主管させて頂き、最大限「手作り」を取り入れたので、至らないところもあったと思いますがその点はお許しください。この大会は、参加料を7万円から4万円に、懇親会は7千円から約4千円にと大幅に経費を低減させ、個人負担を最小限にすべく諸経費を合理化しました。又、競技については、大会を盛り上げるべく簡素化せず最大限の努力をしたつもりです。今回の大会は関東テニス協会常務理事会等で討議した内容を含めて実施しました。

2026/7 埼玉県テニス協会 副会長兼理事長 第53回ビジネスパルティレクター 油井正幸

- 2、男子 本田技術研究所:4位(全国確定) 鹿沼市役所 :6位(全国確定)
- 女子 本田技術研究所:8位

この度は、第53回 関東BP予選通過おめでとうございます。旭川で開催されます、全国大会に向けて体調調整の程宜しくお願いたします。

栃木県勢として、男子2チームの全国大会出場は今までに記憶がありません。強豪揃う男子チームの中でベスト6位以内にくい込むことは、非常に大変な事と思います。この成果も日頃の社会人として、前向きにテニスに打ち込む情熱が実を結んだのだと感じま

8月29日~31日に北海道旭川で開催されます、第53回全国実業団対抗テニス大会でのご活躍を願っています。

3、TTAサミット会議 理事長と副理事長による幹部のTTA問題点熟考の会議

- 1)ジュニア基金の詳細煮詰め、2022年栃木国体に向けジュニアの指導、TTA繰越金増対策(2015年参加費値上げ、大会参加人員増対策)
- 2)ジュニアの車の両輪として、強化と発掘のためのP/Sによる普及活動の各地区による推進

4、今年は、ジュニア基金の議論のため、8/31委員長会議、9/21理事会を追加実施。

以上

TTA レポート (NO.101)

2005.5.31の第1号から、TTAのホームページに、TTAは勿論ですが、栃木県体育協会、KTA、JTAの動きにつき、幾らかでも皆様の参考になるようレポートを掲載してからお蔭様で101号になります。

1、2014年長崎国体結果

10/13~16 長崎市総合運動公園かきどまり庭球場と長崎市営庭球場

総監督兼成年男子監督:阿久津定之、成年女子監督:渡邊千鶴、少年男子監督:毛塚英樹、少年女子監督:斉藤良徳

成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
大橋 可宏	上吉原 あい	和田 隼友(足工大付属)	加藤美怜(海星女子)
鈴木 佳太	玉野 奏海	古谷 和真(足工大付属)	佐々木遥(作新)
1回戦勝つも、2回戦で神奈川県に敗退	1回戦で埼玉県に敗退	1回戦BYEも、2回戦で北海道に敗退	1回戦勝つも、2回戦で福井県に敗退

トレーナー:吉村健児

2、ねんりんピック栃木2014 台風のため、10/5のみ、タイブレーク方式に変更

10/4 16:00~監督会議、17:10~テニス開始式 栃木市文化会館にて、10/5 全国大会の試合、全72チームで大会

栃木県は6チーム出場。ブロック1位は、ACDEの4チーム。詳細はTTAのHPに掲載。

チーム名	対戦相手				勝率	勝利試合数	取得ゲーム数	順位
	1 栃木県B	2 大阪市	3 熊本県	4 千葉県				
1 栃木県B	-	2-1	2-1	× 1-2		2	5	2
2 大阪市	× 1-2	-	2-1	× 1-2	1	4	4	3
3 熊本県	× 1-2	× 1-2	-	× 1-2	0	3	4	4
4 千葉県	2-1	2-1	2-1	-	3	6	1	1

チーム名	対戦相手				勝率	勝利試合数	取得ゲーム数	順位
	1 神戸市	2 福井県	3 山口県	4 栃木県C				
1 神戸市	-	2-1	2-1	× 1-2		2	5	2
2 福井県	× 1-2	-	× 1-2	× 1-2	0	3	4	4
3 山口県	× 1-2	2-1	-	× 1-2	1	4	3	3
4 栃木県C	2-1	2-1	2-1	-	3	6	1	1

チーム名	対戦相手				勝率	勝利試合数	取得ゲーム数	順位
	1 奈良県	2 福岡市	3 栃木県D	4 相模原市				
1 奈良県	-	× 1-2	× 0-3	× 1-2		0	2	4
2 福岡市	2-1	-	× 1-2	2-1	2	5	2	2
3 栃木県D	3-0	2-1	-	3-0	3	8	1	1
4 相模原市	2-1	× 1-2	× 0-3	-	1	3	3	3

チーム名	対戦相手				勝率	勝利試合数	取得ゲーム数	順位
	1 東京都A	2 栃木県F	3 静岡県	4 長崎県				
1 東京都A	-	2-1	× 0-3	× 0-3		1	2	3
2 栃木県F	× 1-2	-	2-1	× 0-3	1	3	4	4
3 静岡県	3-0	× 1-2	-	2-1	2	6	1	1
4 長崎県	3-0	3-0	× 1-2	-	2	7	2	2

チーム名	対戦相手				勝率	勝利試合数	取得ゲーム数	順位
	1 高知県	2 栃木県A	3 三重県	4 島根県				
1 高知県	-	× 1-2	× 0-3	× 1-2		0	2	4
2 栃木県A	2-1	-	2-1	2-1	3	6	1	1
3 三重県	3-0	× 1-2	-	2-1	2	6	2	2
4 島根県	2-1	× 1-2	× 1-2	-	1	4	3	3

チーム名	対戦相手				勝率	勝利試合数	取得ゲーム数	順位
	1 京都市	2 群馬県	3 北九州市	4 栃木県E				
1 京都市	-	× 1-2	2-1	× 1-2		1	4	3
2 群馬県	2-1	-	× 1-2	× 1-2	1	4	2	2
3 北九州市	× 1-2	2-1	-	× 1-2	1	4	4	4
4 栃木県E	2-1	2-1	2-1	-	3	6	1	1

3、第7回メンタルトレーニングセミナー開催

日時:平成26年10月11日(土) 午前8時30分~午後5時まで(終日)

会場:栃木県青少年センター

(住所)宇都宮市駒生1丁目1-6 電話028-624-2203

今年も県体育協会のご支援をいただき選手強化策の一端として東海大学 体育学部教授の高妻容一氏を講師にお招きしてメンタルトレーニングセミナーを開催する事に致しました。技術やパワーでは勝るとも劣らないのに何故か負けてしまう。何時も大切なポイントを落としてしまう。「負ける相手ではなかった」と言いながら結果的に負けている。これらの多くは試合中の精神状態に左右されている事がほとんどのようです。個人のメンタル面は年齢や経験によってどんどん変わっていくものなので、昨年受講したから今年不要というものではありません。続けて受講してこそ徐々に効果がでます。グローバルな活動をされている高妻先生の人を飽きさせないトークで最新の情報を直接耳にして、コーチ選手共々今後の指導並びに試合の中で生かしていただきたいと思います。

4、TTA 8/31委員長会議、9/21理事会

今年は、ジュニア基金の議論のため、追加実施。

(1)ジュニア育成強化基金検討プロジェクト報告 10/26に、予算関係等の理事会実施

- ・競技運営委員会・・・Aトーナメントに上がったら+1,000円、学割の検討する。
- ・中テ連、高体連・・・学校名で登録している学生にも参加資格を与える検討 来年2月の高体連の総会に意見を出し、検討してもらう方向で、今後の委員長会議等で決めていく。

(2)決算と総会日程の見直しについて

- ・各委員会で、どの大会・イベントまでが年度内のものになるのか、決定しておく必要がある。
- ・監査は、4/11か4/12どちらにするか、10/12委員長会議で決めて10/26理事会にて決定する。
- ・監査の人数について、今年度は2名(宇都宮協会・小山協会)で行ってみて、困難なようであれば来年度3名としてはどうか。

5、日本ブライントテニス連盟関東地域協会の椎ヶ本氏から依頼あり

まずは会場をということで、2月14日(土)、15日(日)にて、昨年と同じサンアビリティーズを確保いたしました。これから、要項作成やボランティアさんの手配など、順次もろもろ進めてまいります。TTAとしても、障害者スポーツの一つに全面的にご協力したいと思います。以上

TTA レポート (NO.102)

謹賀新年 2022年栃木国体目指し、一丸となりジュニア元年で強化と普及に取り組みたいと思います。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

1、12/14(日)H26年度栃木県スポーツ指導者講習会 9:00~15:10

1、1 開講式 ねんりんでは全国から41万人参加、2020年オリンピックとパラリンピック、すぐに2022年栃木国体栃木県のスポーツ指導員は1800人

1、2 講演1「スポーツ指導と体罰」 八木由里氏 八木法律事務所弁護士

1、TTAとしては、高体連・中テ連とジュニア委員会、民間クラブが指導と体罰の問題。

2、体罰に関する日体協の見解---体罰とは、身体的苦痛を与える罰を言う。殴る、蹴るなどの直接的行為だけでなく、長時間の正座や裸でのランニングなど義務のないことを行わせることなどを含むものである。①習得が遅い、失敗した、試合に負けた場合に選手に対して行う有形力の行使のケースを想定していると思われる。

3、文部省の見解---教育等が児童生徒に対して、行った懲戒の行為が体罰に当たるかどうかは、当該児童生徒の年齢、健康、心身の発達状況、当該行為が行われた場所的及び時間的環境、懲戒の態様等の諸条件を総合的に考え、個々の事案ごとに判断する必要がある。ケース②規則・規律違反に対する有形力の行使を想定していると思われる。正当な懲戒と認められる余地もある。

4、生徒の年齢、性別、性格、身体状況、懲戒の目的、態様、程度等を総合して判断する必要がある。

5、正当な懲戒の判断基準-----
 ・目的が教育(指導)目的である。 ・経緯(生徒の悪ふざけ、口頭での注意を与えたが従わないなど)
 ・程度(口頭での注意に匹敵する程度) ・対象となる選手の状態 ・期待される効果

6、違法となる事例-----最高裁の判例。日本仲裁機構の活用

7、体罰が心身に及ぼす影響-----暴力の連鎖、暴力を受けて育った子供は、暴力を使う大人になる。

8、法的責任-----刑事責任と民事責任

9、体罰根絶のために 体罰は違法行為、犯罪行為であることをスポーツに関する全ての人が再度認識要。スポーツに関する人達がそういった意識を持つことで、体罰を行えない雰囲気をつくる。告発は悪いことではない。

10、競技連盟や上位団体の役割 指導者への啓蒙活動、問題発生時に備えた規程整備の必要性、体罰の断固とした対処。体罰あれば資格や役職の剥奪等。情報提供に対する無視、もみ消しは論外。被害者や告発者に対する配慮は不可欠。

話がもっと抑揚要、理論的に説明、体験に基づく講話要なら聞きやすい。

1、3 講演2「コーチのためのメンタルヘルズトレーニング」 笠原彰氏 作新大学准教授

1、TTAでも高妻先生と共に、ジュニアに数回のメンタル指導を実施。

2、コーチングの心理学 ・コミュニケーションの平等化 ・ポジティブシンキング ・コーチが誉めるとよい状況
 ・複数の伝達方法を使う ・誉めかたを変える、好子、嫌子 ・動機づけ ・リラクゼーションとさいキングアップ

3、MORSの法則 行動目標の重要条件！！

2、JTA(日本テニス協会)副会長 渡邊 康二氏の「和製英語のすすめ」より参考にして下さい。

「スポレクとちぎ2011」では、JTAの専務理事として栃木に見えた。

最近をよくTVでテニスが見られるようになりました。多くは有料放送ですが、グランドスラムやATP、WTAなどの主要な大会、そして何よりうれしいのは、日本人の活躍に応じて急きょ放映してくれるようになったこと。それもライブ放送が多く、視聴料などまるで気にならなくなりました。テレビ局も視聴率が増えれば増えるほどテニス番組を増やしてくれそうですし、テニス界を挙げてこの動きを支持、応援したいものです。ところが中継をじっくり見ていると、ちょっと気になることがあります。それはアナウンサーや解説者の言葉に、正式英語の名称が増えてきたことです。例えば

1) Serving for the first set 2) Down the Line 3) Unforced errorなどなど。3)はMatch statisticsが公表されるようになってからの名称で、まだ最近の用語ですが、1)、2)は英語では大昔から使われている用語で、このところ日本で急によく使われるようになった言葉です。正式英語呼称をもっと用いるべきか、それとも和製英語でファンに馴染みやすくするべきか悩むところではあります。野球を例にとってみると、和製英語が圧倒的なのが分かります。

「フォアボール」(base on balls)、「ランニングホームラン」(inside the park home run)、「デッドボール」(hit by pitched)などはほんの一例。

ネットで見るといくらでも簡単にでてくるので参考にご覧いただきたいと思いますが、山ほどの和製英語で野球は成り立っています。いまさらこれを急に正式英語に変えることとなると、今のアナウンサーの迫真の実況、臨場感は何も伝わらなくなるでしょう。テニスもあまり知ったかぶりで正式英語呼称を使わない方が、良いのではないのでしょうか。「いよいよマッチサービス(ゲーム)です」、「クロスの打ち合いから渾身のストレートショット」、などの方が緊張感も伝わるとし、unforcedでもforcedでもエラーはエラー、winnerとの区別をつけるだけで良いのではないのでしょうか？ どの解説者が一番分かりやすく実感のこもった用語で表現をするかを期待してみるのも一興。

それにしても「サーブスキープ」や「逆クロス」などの用語は日本独自の発想で、英語にはしてほしくないと思うのは老人のみでしょうか…？

3、TTA 日程

3、1 11/30に硬式内の2015年度コート調整会議を踏まえ、12/21にソフトテニスとの調整会議

3、2 3/22 第三回委員長会議 4/12 第四回委員長会議及び会計監査 4/19 第四回理事会
 今年度から会計監査の充実のため日程調整を行った。またジュニア基金の建設的議論を実施。

5/10に2014年度総会

以上

TTA レポート (NO.103)

早いもので、2014年度も終了します。2015年度は、TTA役員の改選時期であり、皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

1、JTAから「アンチ・ドーピング教育徹底のお願い」

1)内容はアンチ・ドーピング教育への主旨徹底のお願いでございます。貴協会の選手・監督・指導者の皆様方が知識を深めていただきたく何とぞ、よろしくお願い致します。アンチ・ドーピング教育の大切さと啓蒙活動をに活用し、特に下記ADAMSによると、2)~4)を参照下さい。

2)ドーピングはフェアプレーに反する行為 スポーツへの情熱を持ち、スポーツを愛するすべての人への裏切です。

ドーピングはフェアプレーの精神に反するとして、全世界、スポーツ界全体で禁止されています。また、ドーピングをすることでアスリート自身の社会的信用を失うだけではなく、スポーツ全体の価値を損なうことにもなります。観客は、アスリートが正々堂々と競い合っている姿に感動を覚えるもの。一人のアスリートの過ちで、その期待と信頼を裏切ることになりかねないのです。

3)禁止物質や禁止方法は毎年1月1日に更新 競技会以外の検査や居場所情報の提出義務も

禁止物質や禁止方法は、世界アンチ・ドーピング規程の禁止表国際標準 (Prohibited List) に定められ、毎年1月1日に更新されます。

常に禁止されている物質、競技会の時だけ禁止される物質また、特定の競技において禁止されている物質などの分類がありますので、それぞれチェックしましょう。また、ドーピング検査には競技会検査と競技会外検査があり、トップアスリートは居場所情報を提出する義務のあるRTPに登録される場合もあります。アンチ・ドーピング管理運営システム(ADAMS)はインターネット上で利用できます

4)風邪薬や漢方薬、サプリメントにも注意! スポーツファーマシストに相談し、確認を取りましょう

うっかり飲んだ風邪薬や花粉症の薬、漢方薬、サプリメントにも禁止物質が入っていることがあるため注意が必要です。薬を購入する際には、アンチドーピングに関する専門知識を持つJADA公認の薬剤師、スポーツファーマシストに相談するようにしましょう。また、治療のためにどうしても禁止物質を使用しなければならない場合は、TUE(治療使用特例)をJADAなどのTUE委員会に申請し、承認を得る必要があります。

5)当協会は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、世界のスポーツ界におけるアンチ・ドーピング活動に対する社会的関心・国家事業としてのニーズの高まりから、昨年11月の常務理事会においてJTAアンチ・ドーピング基本方針を決議し、平成27年度より日本のテニスを統轄する中央競技団体として、日本テニス界での「アンチ・ドーピングに関わるルールを守る」ことを確保する体制をとることとしたところです。

アンチ・ドーピング基本方針に基づき、平成27年度以降の国民体育大会は積極的な参画を検討して行くことといたしました。

つきましては、傘下の選手ならびに監督や国体強化指導者に対してアンチ・ドーピング教育を徹底していただき、スポーツの価値を守る意識の向上に努めていただけるようお願い申し上げます。」

【参考 JADA教育ツール】

1. アスリートに特化した特設サイト「アスリートサイト」
URL:<http://www.realchampion.jp/> → さまざまな教育ツールが掲載されています。
2. E-ラーニング「Real Winner」※2015年3月31日まで公開されています。
URL:<http://jada.realwinner.org/LoginPage.aspx> → ウェブ上で取り組みます。

2、1月12日に実施したジュニア体力測定会(2015年度11歳以下強化指定選手選考会)のデータ集計が終了

- 1)ジュニアの一貫指導委員会が中心となり、久しぶりに男子15名、女子12名と多くの参加があった。
- 2)①基礎体力評価、②リズム感及び打球テスト評価、③として基礎体力評価+②リズム感及び打球テストの総合評価の順ジュニアらしく一生懸命に各競技に取り組んだ。男女各2名の強化選手と補欠2名を選抜した。
- 3)今年は錦織圭の影響もあってか、今体力測定会の参加者が増えて良かったです。
- 4)栃木国体に向け、若手に良い材料ですね。

3、TTA今後の日程

3/22 第三回委員長会議 4/12 第四回委員長会議及び会計監査 4/19 第四回理事会
今年度から会計監査の充実のため日程調整を行った。またジュニア基金の建設的議論を実施。
5/9に全日本都市対抗関東予選のため、5/17に2014年度総会に変更

4、3/21 クラブ対抗の千葉県との交流戦実施、KTAでの拡大期待

また2015年3月1日に全日本都市対抗栃木県予選が行われる。それを踏まえて、2015年5月9～10日栃木県で全日本都市対抗テニス大会の関東予選を行います。昨年は8都県出場枠があり、予選を行いませんでした。今年は5都県で3枠を争うこととなります。試合方法等は既に昨年の関東の国体委員会(11月18日)で決定しております。

以上